

自立活動アセスメントシート 記入例

自立活動検討小委員会

学年・組／科・名前	○年 ○○組／科 ○○ ○○
障がいの種類・程度や状態等	療育手帳：B2 ADHD

1 生徒の様子（実態把握及び課題の整理）

- ◎：得意なことや長所、できていること ○：課題があるが、支援があるとできること
 ▲：課題と思われること ◇：状況や情報

	生徒の状況
健康の保持	◎体力があり、無欠席で登校している。
心理的な安定	▲他の生徒の言動が意に沿わないと、イライラすることがある。 ▲イライラすると人へ手や足が出たり、物を壊したり、自傷したりする。
人間関係の形成	▲正義感が強く、友達に正しいと思うことをストレートに言うことがある。 ▲会話では、一方的な話になることが多い。
環境の把握	▲相手の話を自分なりの解釈で受け止めてしまい、誤解されることがある。 ◎多くの言葉を知っていて、音声でのやりとりはできる。
身体の動き	▲動きがぎこちない面があり、作業等のペースが遅れることが多い。 ▲不器用さがあり、手先を使う細かい作業は苦手である。
コミュニケーション	◎大人に対しての言葉遣いは、丁寧に行える。 ▲他の生徒に対して攻撃的、否定的な表現が多い。
その他 ・興味関心 ・得意なこと、長所 ・家庭生活 等	○アニメの話など、趣向が合えば共感的に話すこともある。 ◎ゲーム、アニメ鑑賞、ボカロが好きである。 ◎植物、虫などに詳しい。 ▲家庭では、弟への暴言や暴力が度々ある。

2 指導目標

- ①否定的、攻撃的な発言を少なくし、肯定的、共感的な発言ができる。
 ②ストレスの仕組みや解消法を知り、ストレスの解消や気持ちの切り替えができる。

3 必要な項目

1 健康の保持

(4) 障害の特性の理解と生活環境の調整に関すること。

2 心理的な安定

(1) 情緒の安定に関すること。

(2) 状況の理解と変化への対応に関すること。

(3) 障害による学習上又は生活上の困難を改善・克服する意欲に関すること。

3 人間関係の形成

(2) 他者の意図や感情の理解に関すること。

(3) 自己の理解と行動の調整に関すること。

(4) 集団への参加の基礎に関すること。

6 コミュニケーション

- (2) 言語の受容と表出に関すること。
- (5) 状況に応じたコミュニケーションに関すること。

4 指導内容

【場面】：【教】各教科・領域等 【全】学校生活全体 【自】自立活動の時間における指導

目標番号・指導内容【場面】	支援内容	評価
①コミュニケーションゲームや場面のシミュレーションを行い、肯定的、共感的な表現や、人を傷つけない表現ができるようにする。【自】【教】【全】	<ul style="list-style-type: none"> ・体験を通して身につけられるよう、コミュニケーションゲームやシミュレーション等の学習を設定する。 ・日常的に適切な表現ができている場面では、気づきを伝えるとともに賞賛する。 	
②ストレスマネジメントについての学習を行い、イライラしたときの対処法を身につける。【自】【全】	<ul style="list-style-type: none"> ・ストレスの仕組みや対処方法を具体的に示し、グループでの意見交換や実際に体験する活動を設定する。 	
①②自己理解の学習を行い、自分の得意なこと、苦手なことを知り、苦手なことへの対処方法や、得意なことの生かし方を知る。【自】【全】	<ul style="list-style-type: none"> ・年間を通して自己理解の学習を行い、自分を客観的に捉え、自ら環境を整えることができる学習内容を設定する。 	